

Windows 11、MacOS、およびLinuxでのOpenDNSの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[Windows 11でのOpenDNSの設定](#)

[MacOSでのOpenDNSの設定](#)

[LinuxでのOpenDNSの設定](#)

[オプション 1NetworkManager\(GUI\)を使用したDNSの設定](#)

[オプション 2NetworkManager\(nmcli\)を使用したDNSの設定](#)

[オプション 3systemd-resolvedを使用したDNSの設定](#)

[DNS解決の確認](#)

[トラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、Windows 11、macOS、およびLinuxでOpenDNS DNSサーバアドレスを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

- エンドポイントでの管理アクセス (Windows、macOS、またはLinux)
- インターネットへのネットワーク接続
- OpenDNSリゾルバのIPアドレス：
 - 208.67.222.222
 - 208.67.220.220

オプション(FamilyShield):

- 208.67.222.123
- 208.67.220.123

Windows 11でのOpenDNSの設定

1. Settings > Network & internetの順に選択します。
2. アクティブな接続を選択します。
 - Wi-Fiが接続されているネットワーク、またはイーサネットを選択します。
3. DNS server assignmentの下で、Editをクリックします。
4. Manualを選択します。
5. IPv4を有効にします。
6. 次のDNSサーバを入力します。
 - 優先DNS:208.67.222.222
 - 代替DNS: 208.67.220.220
7. [Save] をクリックします。

MacOSでのOpenDNSの設定

1. System Settings > Networkの順に選択します。
2. アクティブなネットワークインターフェイス (Wi-Fiやイーサネットなど) を選択します。
3. [Details] をクリックします。
4. DNSを選択します。
5. DNS Serversの下に、次を追加します。
 - 208.67.222.222
 - 208.67.220.220
6. [OK] をクリックし、[Apply] をクリックします。

LinuxでのOpenDNSの設定

オプション 1NetworkManager(GUI)を使用したDNSの設定

1. アクティブな接続のネットワーク設定を開きます。
2. 接続のIPv4 DNS設定を編集します。
3. DNS serversを次のように設定します。

- 208.67.222.222
 - 208.67.220.220
4. 接続の変更を保存して再接続します。

オプション 2NetworkManager(nmcli)を使用したDNSの設定

1. 接続名を識別します。
 - nmcli connection showコマンドを実行します。
2. 接続にDNSサーバを設定します。
 - nmcli connection modifyコマンドを実行して、IPv4 DNSを208.67.222.222 208.67.220.220に設定します。
3. 接続を再接続します。
 - NetworkManager接続をいったん切断してから再接続します。



注：正確な接続名とインターフェイスはディストリビューションによって異なります。

オプション 3systemd-resolvedを使用したDNSの設定

配布でsystemd-resolvedを使用する場合は、インターフェイスごとにDNSを設定し、resolvedで設定を確認します。

アクティブインターフェイスのDNS サーバを次のように設定します。

- 208.67.222.222
- 208.67.220.220



注：設定方法は、ディストリビューション、およびDNSがNetworkManager、systemd-networkd、またはその他のサービスによって管理されているかによって異なります。

DNS解決の確認

設定後、DNSクエリが解決され、設定されたリゾルバが使用中であることを確認します。

- Windowsの場合は、アクティブなアダプタ設定でDNSサーバの割り当てを確認します。
- macOSで、DNSサーバがアクティブなインターフェイスのDNS設定に表示されることを確認します。

- Linuxでは、アクティブなインターフェイスのDNSサーバをシステムリゾルバのステータスで確認します。

名前解決がすぐに変更されない場合は、ローカルDNSキャッシュをクリアします（方法はオペレーティングシステムによって異なります）。

トラブルシューティング

- 再起動後にDNSサーバが復帰する場合は、DNSが次の方法で適用されているかどうかを確認します。
 - VPNソフトウェア
 - モバイルデバイス管理(MDM)プロファイル
 - セキュリティソフトウェア
 - ルータからのDHCPオプション（エンドポイントではなくルータでDNSが設定されている場合に共通）
- ブラウザがDNS-over-HTTPS(DoH)を使用する場合、OSレベルのDNS設定をバイパスできません。結果が期待値と一致しない場合は、ブラウザのDNS/DoH設定を確認します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。